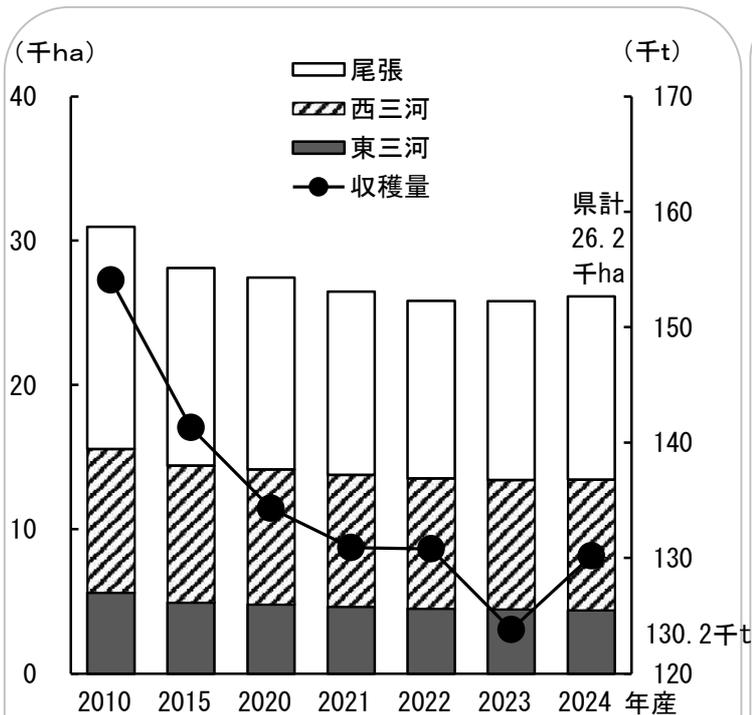


# 稲(米)・麦・大豆

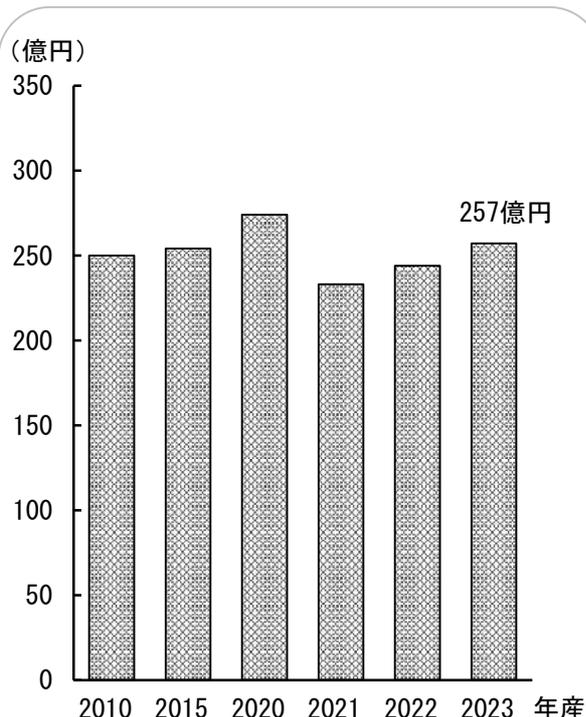
## 《稲作付面積と収穫量の推移》



(出典：作物統計)

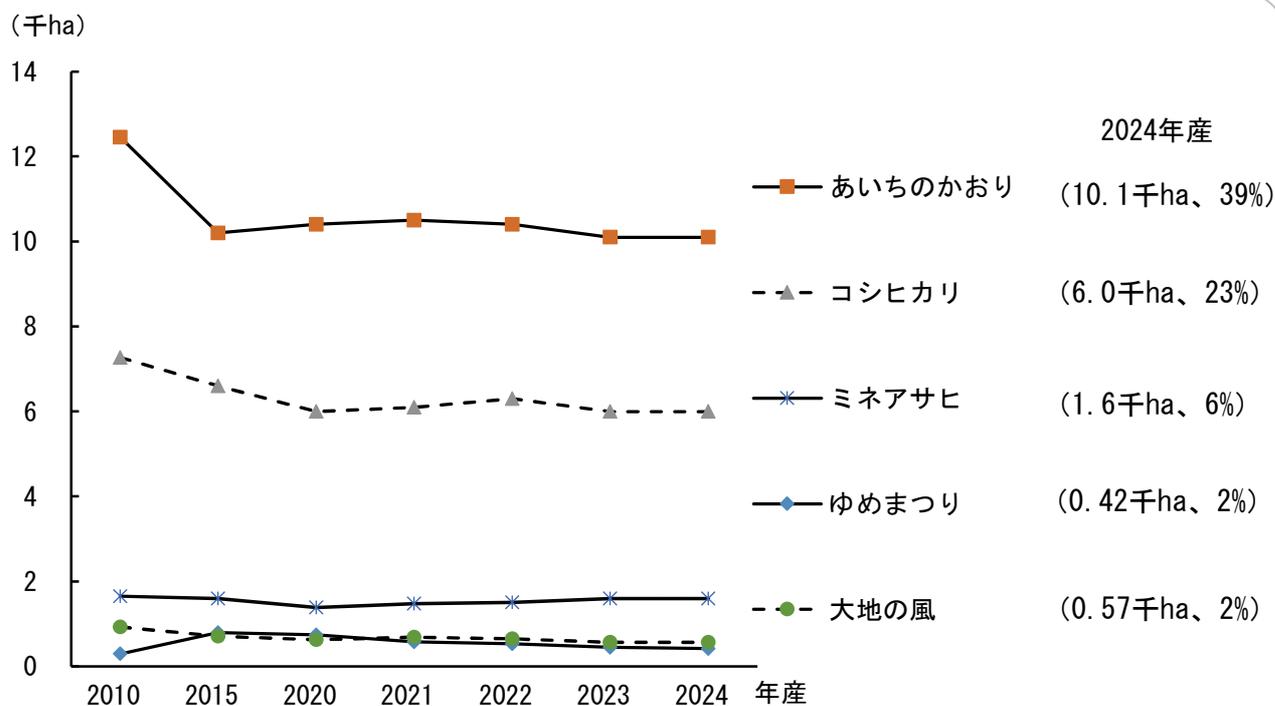
稲の作付面積、収穫量とも減少傾向であるが、2024年産はやや増。10aあたり収量は497kgで、作況指数は99であった。

## 《米産出額の推移》



(出典：生産農業所得統計)

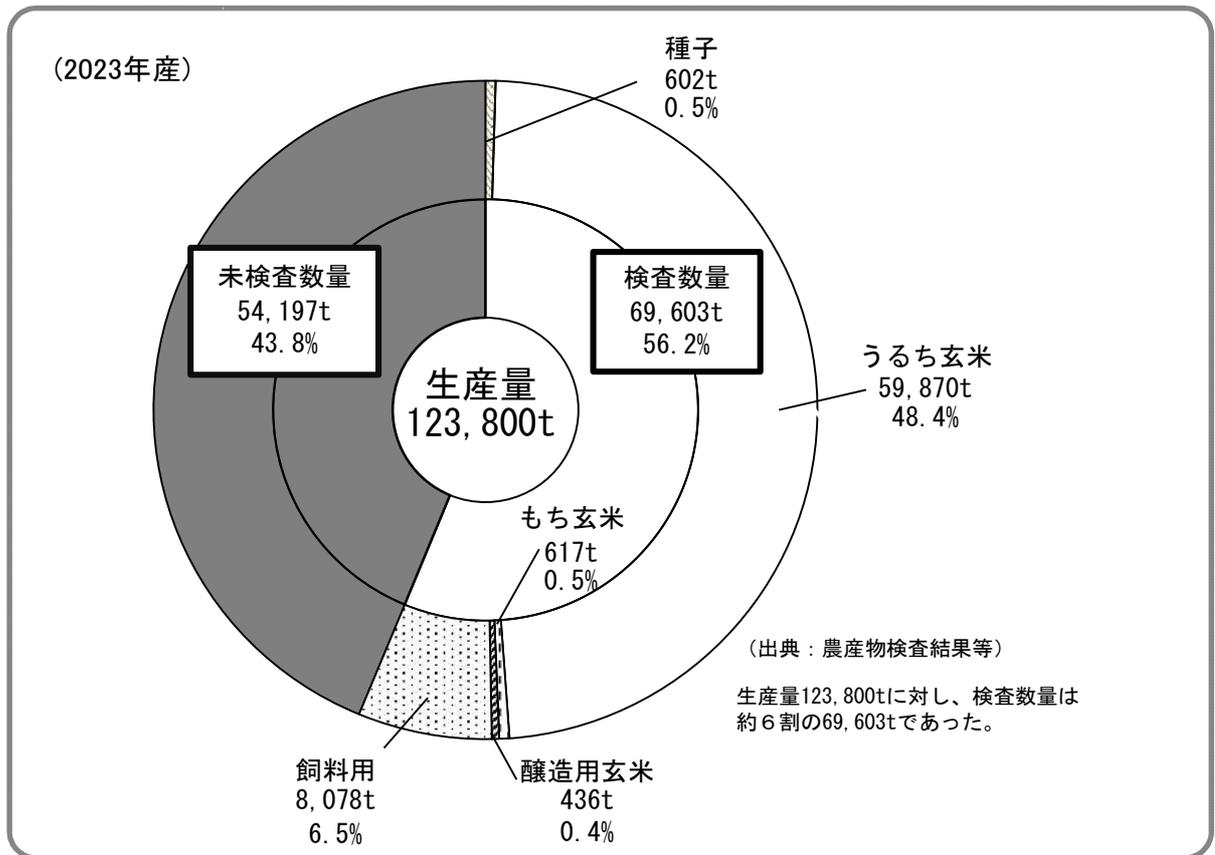
## 《稲主要品種の作付面積の推移》



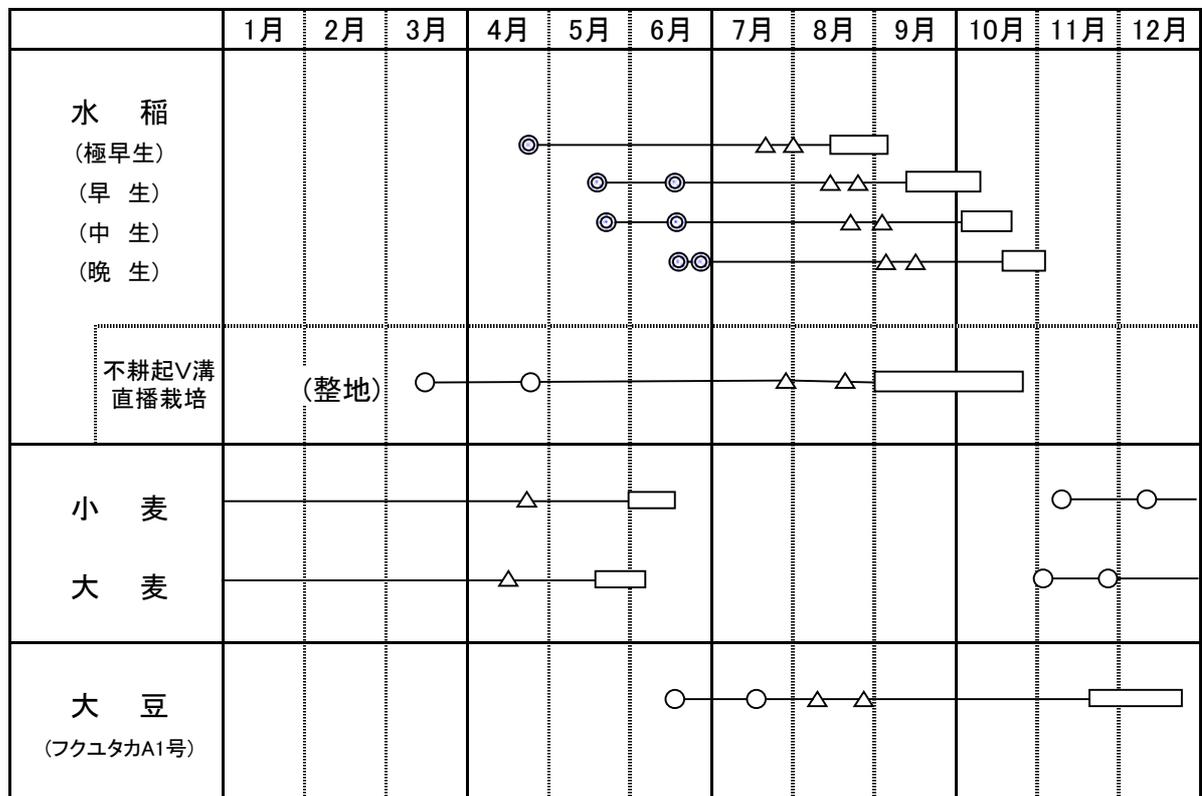
(出典：園芸農産課調べ等)

県内で400ha以上の作付がある品種の面積(推定値)を示した。近年は主要品種の作付面積・割合に大きな変化は見られない。

## 《愛知県産米の農産物検査数量》

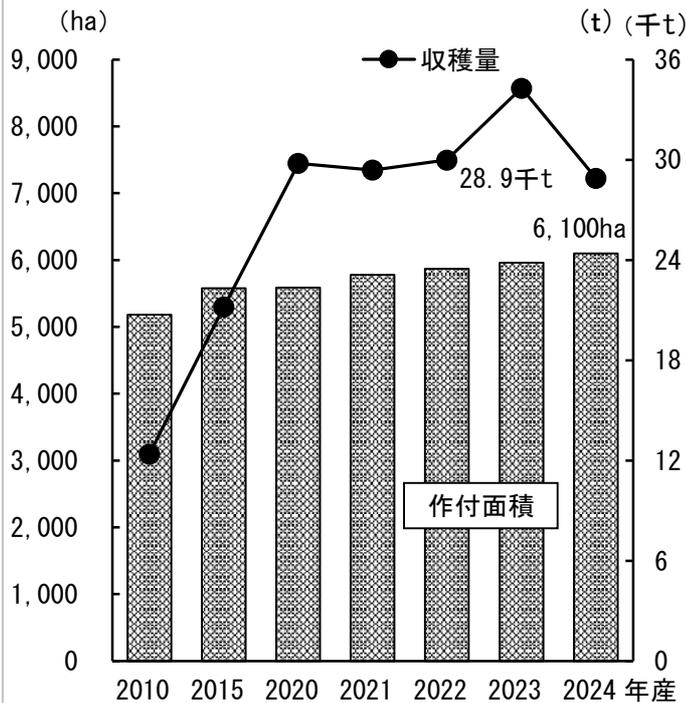


## 《稲・麦・大豆の作付体系》



凡例： ○ ◎ — △ △ □  
播種 移植 出穂/開花 収穫

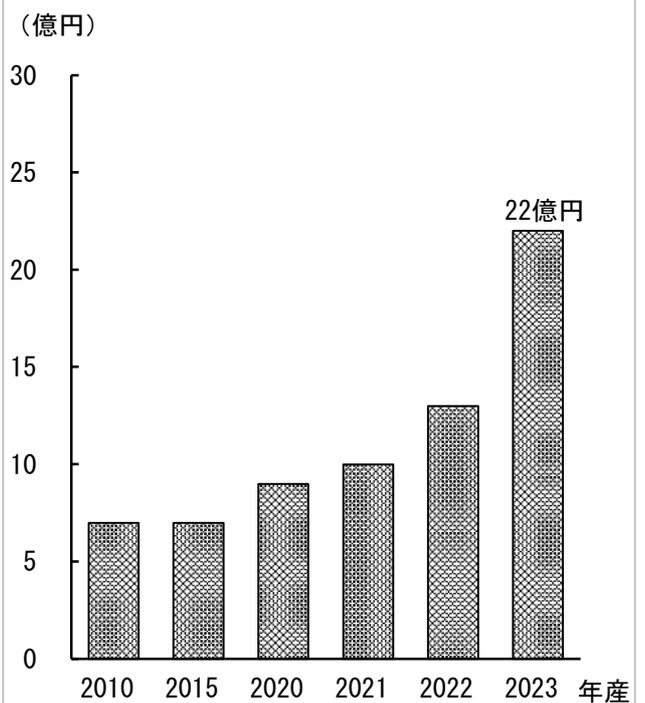
## 《小麦作付面積と収穫量の推移》



(出典：作物統計)

近年の作付面積は6,000ha前後で増加傾向。  
 収穫量は、「きぬあかり」が導入された2012年産以降増加し、  
 10aあたり収量は2018年産から3年連続全国1位となった。  
 2021年産は509kgで全国2位、2022年産は511kg、2023年産は  
 575kgで2年連続全国1位。2024年産は473kgで全国2位。

## 《小麦産出額の推移》

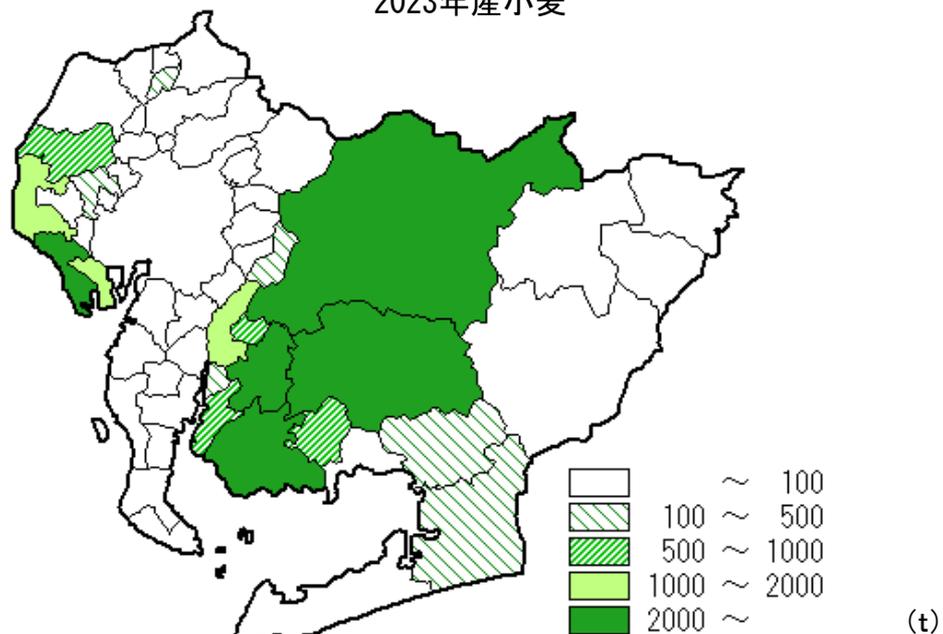


(出典：生産農業所得統計)

2007年産以降、経営所得安定対策等の助成金額が産出額に  
 算入されないことになった。  
 国内産麦の価格は外国産麦の価格の影響を受けるため、変  
 動がある。

## 《小麦の市町村別収穫量》

2023年産小麦

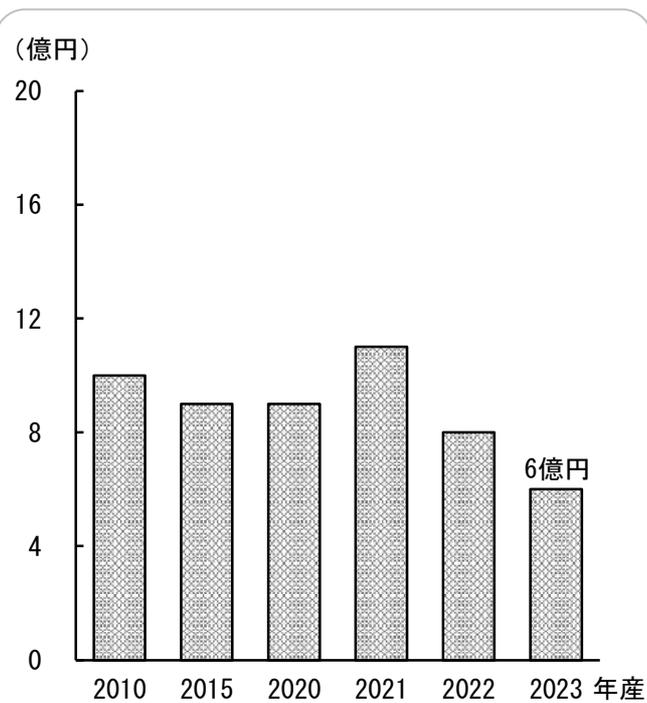
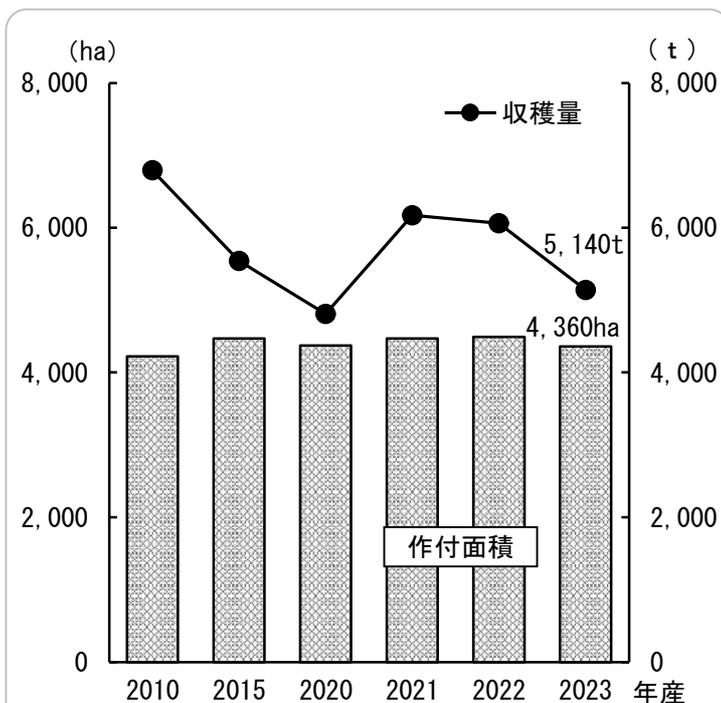


(出典：作物統計)

小麦は西尾市、安城市、豊田市、岡崎市など主に西三河地域で、大麦は大口町で生産されている。

## 《大豆作付面積と収穫量の推移》

## 《大豆産出額の推移》

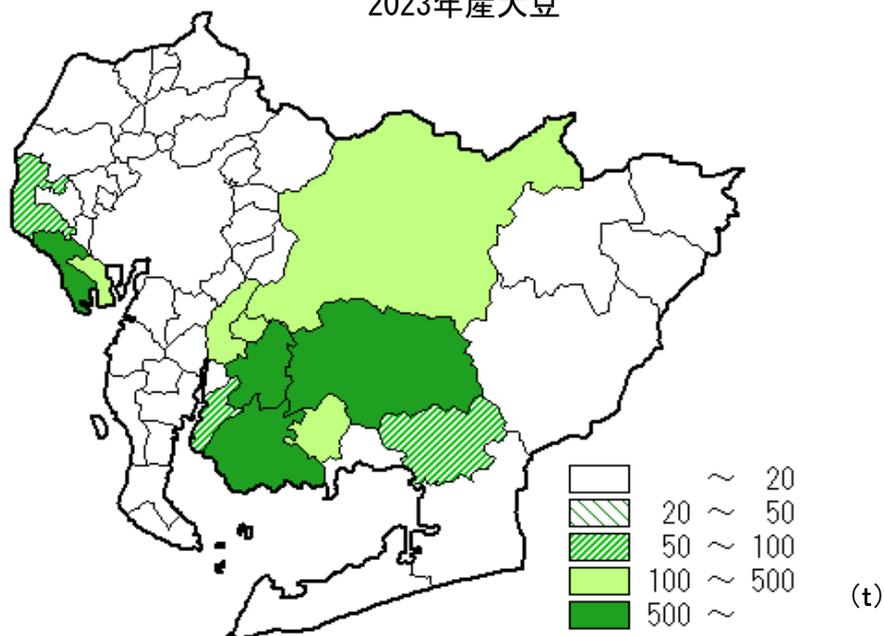


(出典：作物統計)  
 近年の作付面積は4,500ha前後。  
 作柄の変動が激しく、2018年産以降不作が続いた。  
 2020年以降に栽培された品種はすべて「フクユタカA1号」。

(出典：生産農業所得統計)  
 作柄の変動が激しいため、価格の変動も激しい。  
 ただし、愛知県産の価格は全国平均と比較して高い傾向にある。

## 《大豆の市町村別収穫量》

2023年産大豆



(出典：作物統計)  
 大豆は西尾市、安城市、岡崎市、豊田市などの西三河地域、弥富市などで主に生産されている。